

△一九二六年度の運動の概観

18.55
●本年度第一回中央委員會

- 一月十一日午后七時より本部林上に於て開催され、出席は大半
員廿二名(浅原健三君議長席に就き在り)件を議した。
一党費徵集の件を本年度大會に提出する事。
一大阪に於て開催せらるゝキ、第二回無産政黨組織準備会に付す
る対策決定の件
一月十三日の同準備會に参加希望の電報を打つ。(決議)
丸表は派遣せし潛く形勢を見事す。

●本年度大會開催の件
日時、二月中旬の予定
準備委員会二十名を擧ぐ

■無産政黨組織九州地方協議會策実行委員會

昨年十二月六日農労党解散直後の民憲党中央委員會に於て
決定せる九州協議會討採委員會は一月十八日中央及地方の情
勢を鑑みて速時九州地方協議會の召集方と同會の庶務院に要
求すると共に加盟各団体にも應當力を前面を以て要求した。
因に是に由つて廿七日協議會が開催された。党よりは河島、
堂本の二君が出席したが、名前を福岡縣無産政黨組織協議會と
し而盟友体は福岡縣下の各無産団體と共同戦線に起つ第一歩
であつた。

内閣人壽四十億、國庫十億、小幣一千億、支那銀行、中華

憲法反対大會開催會議費

福岡縣民憲黨本部開設式祝賀會

憲法反対大會開催會議費

民憲黨第三回大會

農の山野金會院第三回大會を二月中旬八幡市に召集の事
に決定し、準備委員會名を定められたが先づの準備は期廿一日八幡
市有樂座に於て開催する事をな附充該會場の天井に掛けた
會場幕は新來參委の入日と斜でちかなる(九州民憲黨第二回大會
と筆力強温素盞吾が三流の長旗は歌よく胡風の中だ我等の意
氣を示すものとなつて、開場式の午前八時既に傍聴者代議員
は續々と入場する。會場の天井の真只中から斜にプラット
ホーク(木製の椅子)が並んである。三流の長旗にて、
「萬國の万能御利益せよ失ふものは鐵錐み得るものは全在歟!!」
「第一回準備委員會を支持し全國的軍一政党を樹立せよ!!」
「暴戾極まる交渉停止を廃却せよ!!」

更に議長席は正廟には
無産政黨組織委員會本階級的政治戰線へ動員せよ!!
全くの柱事場は我等の陣地なり!!
のスムーズが我が開催の順序を大書せる背壁をバツクヒ
执行委員会長太郎吉の同會のもと走刻九時に意義ある第二
回大會は開催せられた。今まより事記すれば次の如くである。